



求めよさらば

ブラーカ中村クリニック

中 村 茂 樹

シニアになったら、いくらか増えた自由時間で楽しい事がしたい。例えば昔に還って、軽い学びをしたい。英会話のできるカフェなんかどこかにないか、以前から漠然とそう願っていた。

ある時、新潟市医師会報「私の好きな店」で興味を持ったお店に勇気を出して行ってみた。するとそこは、まさに私のイメージ通りの場所だった（「Bridge NY Coffee」内山直樹先生 令和4年12月号）。その場で英会話スクール入校を申込み、以来週1回のレッスンに通って2年になる。生徒は私と県庁マンの男性の2名だけ、コーヒー片手に各自が旅行、グルメから政治、経済に至るまで自由なテーマのプレゼンをして、その後Dan先生も交え3人でフリートークをやる。もともと社会科の教師希望だった先生のコメントは、いつもの確でユーモアがある。boys' talk であるが共感と異文化交流に溢れ、日々の気持ちにもハリが生まれる。英語がなかなか上達しない事など、この際二の次だ。

英語の次は音楽だ。高校生の時の選択科目は音楽だった。授業では男性声楽家W先生のピアノに合わせて、みんなでクラシックの名曲を歌ったものだ。W先生の消息を人づてに探してもらったところ、現在は胎内市にお住まいと分かり、思い切ってご自宅をお訪ねした。当時31歳だった先生も現在83歳、退職後は音楽の比重を少し軽くして、畑仕事と近所の老人に茶道の指導を少々との事だった。私の事は「何となく覚えてる」程度だったが、美味しいお抹茶とお菓子で話が盛り上がり、当分週1回のレッスンをしていただける事で話がまとまった。すでに4回、この記事が掲載される頃に

は10回位終わっているだろう。レッスンの大半を占める発声練習は自分の声を客観的に聞くチャンスである。副鼻腔を使って声を遠くへ響かせる工夫を繰り返す。その後は歌を少々、そしてお抹茶と地元中条のお菓子で楽しいお話をしてお開きになる。レッスンというより遊びに行っているようなもので、先生もそれでいいと言って下さる。

この年で新しい事を始めるには、多少の勇気を与える。しかし学びは常に、心を若返らせる。求めた分は必ず良い形で戻ってくる。

Ask, and it shall be given to you;
seek, and ye shall find;
knock, and it shall be opened to you.

(Mathew 7:7)

求めよさらば与えられん

尋ねよさらば見出さん

叩けよさらば開かれん

(マタイ福音書7:7)



W先生とレッスン後の一服